公益社団法人
東京都理学療法士協会
NO.184 ニュース

2013.5.25 発行
◆発 行 公益社団法人
東京都理学療法士協会
◆発行人 野 本 彰
◆編集人 原 田 憲 二
学校法人小関学院
東都リハビリテーション学院
理学療法学科
〒153-0044 目黒区大橋2-4-2
TEL.03-3468-0298
FAX.03-3468-0225
◆印刷所 (株)森 山 印 刷

公益社団法人取得後、初めてのニュースです！

今までも理学療法の知識と技術を通じて都民の健康に寄与してまいりましたが、今後も、より一層努力を続け都民へ貢献できるように頑張っていきます。しかし、今後はそればかりではなく、国や都の政策からのアプローチも必要と考えております。そこで記念すべき取得後初のニュースでは、日本理学療法士協会理事・前衆議院議員の山口かずゆき氏をお招きし、当会副会長の高田治実との座談会を企画しました。是非ご一読下さい。

## 価値を伝える！
## ～東京都民の健康寿命を理学療法士が変える～

高田
本協会は成25年4月1日より公益社団法人の認可を受けました。公益社団法人を名乗る以上、これまで以上に東京都民の健康維持・向上を目的とした活動を提供していく組織にならなければなりません。そこで今回、前衆議院議員の山口かずゆき先生をお迎えし、お話を進めていきたいと思います。山口先生、どうぞよろしくお願いいたします。

山口
本日は実習時代からの恩師の高田先生との対談、とても楽しみにして参りました。こちらこそよろしくお願いいたします。

高田
早速ですが、山口先生は、東京都民の健康に対して理学療法士がどう貢献できるかということについてお話をお聞かせいただきたいのですが、近年、理学療法士を始めとしたリハ専門職が介護技術を学び、リハとケアの協業を図るという動きがありますが、山口先生はどのようにお考えですか。

山口
リハから見た介護とは、自立とQOLを支援するものであり、リハが介護技術を学ぶということではなく、チームの中で、こういう考え方を関係職種に発信して協同できる存在になれると良いなと思っています。

高田副会長

山口かずゆき氏

高田
その通りですね。障害者・高齢者が持っているADL能力を最大限に発揮し、自立するための最小限の介助・援助方法を理学療法士が関係職種に伝えることは重要ですね。我々はリハの視点から介護技術をどう変えていくかということについて協力していくべきですね。

山口
一方で、何故このようなリハ専門職が介護技術を学ぶというような動き・議論が起きたのかを考えてみると、我々があまり医療政策に関与できていないという背景があるようにも思っています。

高田
山口先生は2009年の衆議院選挙で当選され、昨年末の解散まで3年3カ月、国会議員としてご活躍されてきた訳ですが、国の医療政策におけるリハ専門職の関与についてはいかがですか。

山口
少し政治的な話になりますが、最近は以前よりも地方分権が進み、独自の政策を実施しやすくなったとは言え、まだまだ地方は国の方針と準じた形で進んでいるのが現状です。それは医療政策そのものだけではなく、検討委員会メンバーにおいても同じことが言えます。国、つまり厚生労働省が医療政策を検討するための各検討委員会に医師・歯科医師・看護師・薬剤師は基本的に入っていますが、リハ専門職が入っていることはほとんどありません。東京都の保健医療計画の検討委員会も国と同様、残念ながらリハ専門職の名前はありません。

高田
確かに、東京都の保健医療計画にはリハビリテーション医療の取組や高齢者保健福祉施策、障害者施策などリハ関連の計画が含まれているにも関わらず、リハ専門職が検討委員会に入っていないですね。非常に残念です。でも、どうしてリハ専門職が関われていないのでしょうか。

山口
理学療法士で言えば、先ほど申し上げた職種よりも、運動器・障害に対してのアプローチや自立支援において高い技術を持っています。東京都で言えば、都民の健康寿命に対して大いに貢献できる力を持っているのですが、都職員がまずそれをほとんど知りませんし、都民はそれ以上に知りません。これまでは、医師に代弁していただいていた、あるいはできあがった医療政策に受け身一辺倒という形を取ってきたので、ある意味仕方がなかったのかも知れませんが、自分たちの能力を自分たちの業界内だけで共有していると言うか、外部の人たちに私たちの価値を発信・啓蒙する伝える作業が足りなかった結果ではないかと思っています。

高田
我々自身の能力についての啓蒙活動を展開し、東京都で言うと、都民はもちろん、都民の代表である都議会議員、都職員に理学療法士の有用性を理解してもらうことで政策に関与していけるということですね。

山口
そうですね。法律上、我々は障害を持った方だけを対象としているように思われがちですが、肥満や動脈硬化による脳血管障害、加齢による運動不足・廃用症候群が原因のADL障害などの予防の分野にも関わっています。つまり、疾病や障害を知っているからこそ、障害予防から障害の改善まで幅広く関わることができ、豊かな人生を送っていただくということにアプローチできる訳です。
ですから、都民の健康寿命を考えたときに、理学療法士がアプローチすることで健康寿命を延ばせる可能性が大きいのではないか、ここに理学療法士の重要な活躍の場があるのではないかと思っています。まずは理学療法をひとつの手段として活用してもらえるような環境を作ることが大切ですね。

高田
なるほど。では、理学療法士がそういう職業であるという理解を得るためにどのような活動をしてこられたのかをお聞かせください。

山口
国の医療政策において、リハ専門職が活躍していくためには、少なくとも厚生労働省・国土交通省・経済産業省などの関連する省庁の理解・協力が不可欠です。また、これらの省庁に関係する国会議員に対して、リハの重要性、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の重要性を伝える必要があります。自分なりには伝えてきたつもりで、少しずつ理解され始めてきたように思います。具体的には、これまでは入院・在宅を問わず、リハに関する指示はリハ医が行うものという大きな

流れがありましたが、現在は、訪問リハなどの在宅のリハに関しては、かかりつけ医が勉強して指示を出しなさいというような流れに変わってきています。まだ医師レベルの話で、リハ専門職の話ではありませんが、この流れはリハの重要性が理解され始めた証拠、第一歩だと思っています。しかし、リハという言葉の中に括られている状況で、まだ理学療法士という固有名詞が出てくるような状況ではありませんので、これまでの活動を続けていかなければいけないと思っています。
でも何故、少しずつしか理解が進まないのかと言うと、これまでの日本の医療の歴史は、命に直結する疾病だけを重要視する考えが主だったからです。命に直結する訳ではない身体的な障害に対しての理解を得ることは簡単ではありません。

高田
そんな歴史があったんですね。なかなか難しい状況のようですが、だからこそ、議員・行政・都民への啓蒙活動は今まで以上に行っていかなければいけませんね。
山口先生としては具体的な啓蒙活動方法としてどんなことを考えていらっしゃいますか。

山口
これまでのように議員や行政に対して理解を求める活動を継続していくことも大事ですが、先ほど申し上げたように、理解を得るためにはとても時間がかかります。ですので、現場の他職種に、アプローチを通じて障害者・高齢者やそのご家族に、理学療法士の能力を理解してもらうという逆の、ボトムアップの流れも必要なのではないかと思っています。そのためには、我々其々が専門職として、対象者・関係者の期待と希望に応えられるスキルを持っていないといけません。
先ほど、地方は国の方針に準じた形で進むというお話をしましたが、理学療法士が持っているスキルがどんなことに、どう役に立つのかという発言・提言を地方行政に対して行うことによって、地方の中で良い医療の形ができあがるのではないかと思っています。地方で良い形ができあがると、国がそれに倣うということもあります。
そのためには都議会との連携が必要になりますが、私自身、これまで都議会議員とも連携をとってきましたので、都民の健康に関して都議会議員と協力していくことは可能だと思います。是非とも東京都がモデルとなって、良い地域医療政策の形を提案していき、地方行政と国が一緒になった国作りをしていけると良いなと思っています。我々にはその価値は十分にあると思っています。

高田
山口先生、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
本協会の会員数も5,000名を超え、都民の健康に貢献していける人数になりました。これから、具体的な活動を通して、自分たちが能力ついて広く啓蒙していくことの必要性がよく分かりました。そのためには、本協会は政策提言型の協会に変わっていかなければなりませんし、一人ひとりの理学療法士は高い意識と技術の獲得が必要であるということもよく分かりました。
これから今まで以上に、私自身、理学療法業界のためにできる努力をしていきたいと思います。また、山口先生には、本日お話しいただいたことを国民の、理学療法士の代表として、国政の場で発言・実行していただけるよう応援させていただきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

山口
私は、今後、専門職である以上、自分たちのことは自分たちの責任おいて、立場や地位向上のため、積極的に政策に関わるべきであると考えていますが、これまで理学療法業界にはそのような環境や議論する場がありませんでした。
2009年に衆議院銀選挙に立候補したのは、そのような経緯があったからです。私が国政の場に出ることで、政策に対して、理学療法士としての発言ができるようになり、理学療法士として政策に関与していけるようになると思っています。私は理学療法業界にこのような環境を作っていきたいと考えています。誰かが先に歩くことで道ができます。それが私の使命だと思っています。精一杯努力して参りますので、是非とも応援をよろしくお願いいたします。
本日はありがとうございました。

山口かずゆき（公益社団法人　日本理学療法士協会　常任理事）
高田治実（公益社団法人　東京都理学療法士協会　副会長）

# 「リハビリテーションの未来を考える」セミナー開催案内

セミナー名称：　リハビリテーションの未来を考える
主　　催：　公益社団法人 東京都理学療法士協会
後　　援：　山口かずゆき全国後援会
日　　時：　平成25年6月22日（土）　16時～18時
場　　所：　東京慈恵会医科大学　中央講堂（住所：東京都港区西新橋3-25-8）
申 込 先：　総合東京病院リハビリテーション科（担当：小山、吉田、北地、松本、原島）
参加対象：　PT、OT、ST、医療関連職種、一般市民
申込方法：　必要事項（職種、氏名、連絡先住所、電話番号）を記載の上、下記のFAX番号または電子メール宛にお申し込みください（先着順）。

**FAX：03-3387-5403　　E-mail：tokyo.reha@gmail.com**

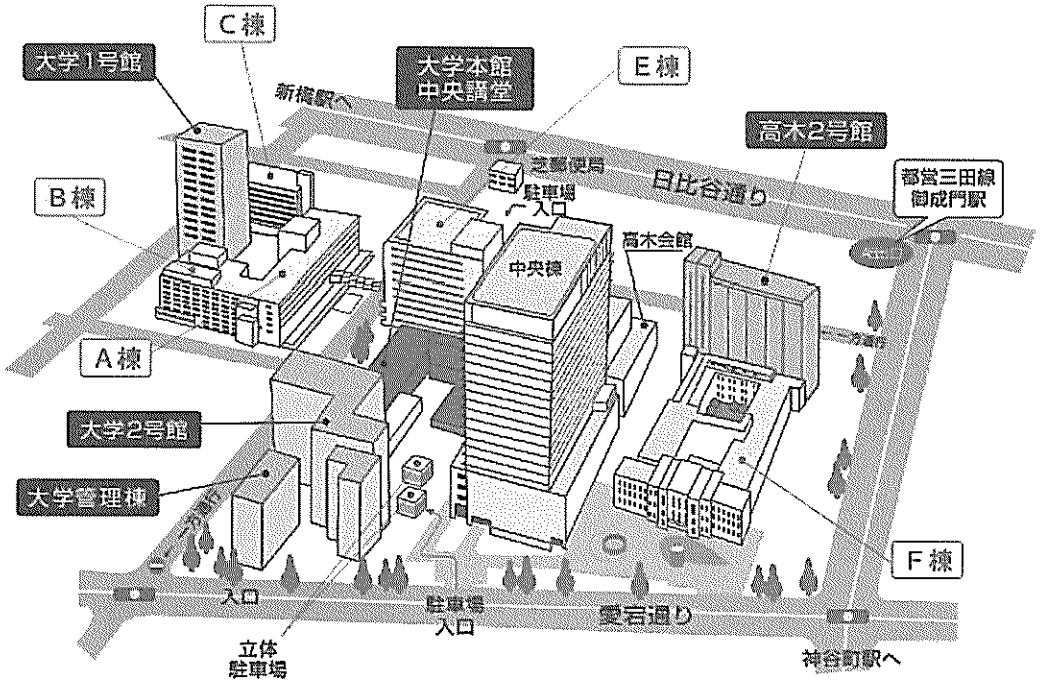
内　　容：

『リハビリテーションの未来を考える』というテーマにて日本理学療法士協会 半田一登会長、日本作業療法士協会 中村春基会長、日本言語聴覚士協会 深浦順一会長をお招きし、それぞれの立場からご提言を頂きます。

さらに、理学療法士である元衆議院議員の山口かずゆき氏から『リハビリテーション専門職の現状の課題と未来に向けて』のテーマでご提言を頂き、その後シンポジウムを行います。

会　　費：　無　料

※日本理学療法士協会新人教育プログラム：「D-1 社会の中の理学療法」単位認定可能



地位向上委員会

委員長：宮城　新吾

## 地位向上委員会からのお知らせ
## 「応援・個人カード」を知っていますか？

お知らせ

会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、ご承知おきのこととは存じますが、日本理学療法士協会理事であり、前衆議院議員の山口かずゆき先生は、現在国政に復帰すべく準備を進めております。

山口先生が議員在職中に成し遂げた様々な業績の中には、特別区における訪問リハビリステーションの設置認可や喀痰吸引行為実施の緩和などがあります。訪問リハビリステーション事業の成功は理学療法士の職域拡大につながるだけでなく、日本国民にとっても大いに意義のあるものであります。また、理学療法士が喀痰吸引行為をすることは、職務拡大になるとともに、リハビリテーションの質の向上につながります。

このように理学療法士自身が直接国政に携わることによって、我々ひとり一人の現場の声を国政の場に届けることが可能となり、リハビリテーションの拡充を付加することができます。その責務を全うすることで、理学療法士の地位向上につながると同時に、真に日本の医療・保健・福祉にも貢献することとなります。

我々、地位向上委員会としては、理学療法士の力を存分に発揮することのできる未来を構築するために、山口かずゆき先生の国政復帰を全面的に応援したいと考えます。具体的な行動として、現在全国の本協会会員に応援・個人カードが配布されております。このカードは、会員の力で山口かずゆき先生を国政に復帰させるための重要なツールです。多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。尚、まだお手元にカードが届いていない会員の方は、お手数ですが下記連絡先までぜひカード請求をお願いいたします。

詳細その他お問い合わせにつきましても下記連絡先まで一報いただければ幸いです。皆様のご理解と、真なるご協力を心からお願い申し上げます。

カード請求・連絡先
東京衛生学園専門学校　リハビリテーション学科内　井上宛
TEL：03-3763-6623　　FAX：03-5763-7253
E-mail：inoue.y@teg.ac.jp

## まもなく東京都理学療法学術大会が開催されます

お知らせ

### 事前参加登録および参加費の振り込みをお願いします。

開催日時：平成25年6月23日（日）
場　所　：吉祥寺東急イン（第1・2会場）および武蔵野公会堂（第3・4会場）
（JR中央線吉祥寺駅南口徒歩2分）　地図
テーマ　：「Activities」　～理学療法士が地域を元気にする～
参加費　：　会員　事前受付2000円　　当日受付3000円
事前登録期間　平成25年4月15日（月）～平成25年6月14日（金）

【参加登録について】
理学療法士の方へ
事前登録をお願いします。（事前登録期間　4月15日　～　6月14日）
事前登録後、参加費の振込をお願いします。
振込を行う際に、参加登録番号を名前の前に入れてください。
当日は、会員証を忘れずにお持ちください。

事前登録はこちら
https://www.ipec2.com/member/tpta/user/registration.php?id=86
参加費振込先

三菱東京UFJ銀行　三鷹支店　普通口座　169548
第32回東京都理学療法学術大会　大会長　伊東彰

スポーツの理学療法委員会

委員長：林弘康

# 「第8回アジア国際空手道選手権大会」、「第2回全関東総合空手道選手権大会」へのコンディショニングスタッフとしての参加報告

報告

平成25年5月5日（日・祝）に「第8回アジア国際空手道選手権大会」、「第2回全関東総合空手道選手権大会」が開催され、コンディショニングスタッフとして参加いたしましたので報告させて頂きます。

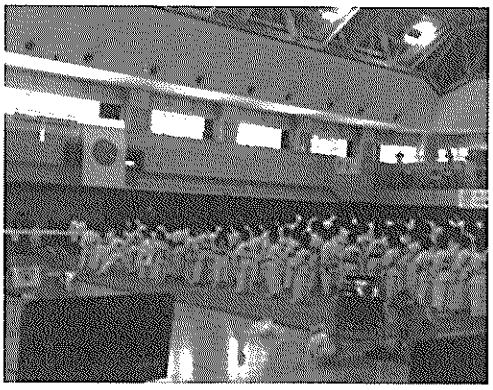
【大会概要】

大会名：第8回アジア国際空手道選手権大会・第2回全関東総合空手道選手権大会
日程：平成25年5月5日（日・祝）10:00～16：30
場所：江東区深川スポーツセンター　メインアリーナ
主催：国際F.S.A拳真館空手道連盟、世界F.S.A空手格闘技連盟
参加者数：約700名（選手248名，その他大会関係者等）

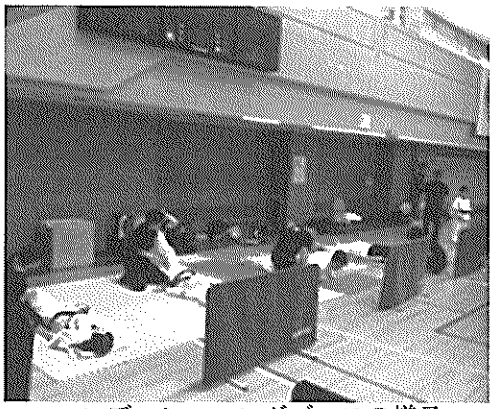
【コンディショニング詳細】

目　　的：選手のコンディションを整えると共に、外傷・障害の予防、疲労回復を図る
実施内容：アセスメントシートによる評価、問診
　　試合前のウォームアップ、身体ケア、ストレッチ等
実施人数：43名（選手、大会関係者）

館長とコンディショニングスタッフ



開会式



コンディショニングブースの様子

試合の様子

【感想】

今回、空手大会でのコンディショニングスタッフに参加させて頂き、普段では経験できない貴重な機会を頂きました。参加者は小学生から一般の方までおり、幅広い年齢層へのコンディショニングを行わせて頂きました。スポーツの中で、選手の為に理学療法士がどのように関わり何が出来るのかを考え、学ばせて頂くことが出来ました。今回の経験を、今後のスポーツの分野における東京都理学療法士協会の活動に活かしていきたいと思います。

（文責：総合東京病院　松尾郁美）

## スポーツ祭東京2013に協力します

お知らせ

この秋、東京都内の各市町村で「スポーツ祭東京2013」が開催されます。
「スポーツ祭東京2013」は第68回国民体育大会と第13回全国障害者スポーツ大会を1つの祭典として行うスポーツイベントです。
多摩地区を中心に各競技が開催されますが、本会に対してもコンディショニングサポート（サービス）への協力依頼が届いており、会として対応することになりました。具体的には以下の競技になります。

1）国民体育大会　高校軟式野球（公開競技）　八丈町（9/28-10/2）
2）全国障害者スポーツ大会　陸上競技　（味の素スタジアム）　（10/12-14）
3）全国障害者スポーツ大会　バレーボール　（代々木体育館）　（10/12-14）

国体に関しては市町村との打ち合わせも済ませております。
障害者スポーツ大会は東京都との打ち合わせも進めており、5/25・26のリハーサル大会にも対応しながら本大会に向けた準備を進めております。

委員会の活動を報告する中で、会員の方々から興味を持って協力を頂ける旨の連絡を頂いております。より多くの会員の方の手をお借りして、今回の大会だけでなく今後の様々な行事の際のサポート体制を整えられればと考えております。
興味をもたれた方や協力を頂ける会員の方は下記までご連絡ください。

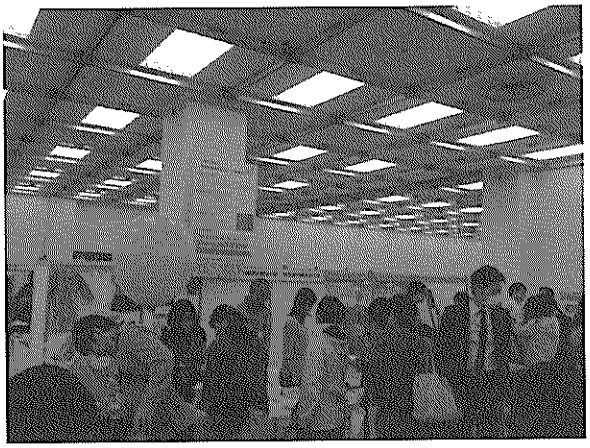
【スポーツの理学療法委員会への問い合わせ】
委員長　　林　弘康
（勤務先）専門学校社会医学技術学院　理学療法学科
TEL：042-384-1030　　FAX：042-385-0118
e-mail：hayashi@sigg.ac.jp

## 小児福祉部

部長：渡辺昌英

報告

去る4月20、21日の2日間、東京都大田区にある流通センターにおいて開催された「第12回　子どもの福祉用具展2013キッズフェスタアンダー18」に東京都作業療法士会と共にブースを出展しました。
今回は、家族や理学療法士が作製した日常生活で役に立つグッズの展示と、それらを集めたアイディアグッズ集を作製し配布しました。天候が悪かったにもかかわらず、2日間でたくさんの方が来場しブースにも多くの方たちが来てくださいました。200部以上作製したグッズ集も2日目の午後早々にはなくなり好評のうちに終了しました。



災害対策委員会

委員長：原島宏明

# 災害対策研修会 開催報告

報　告

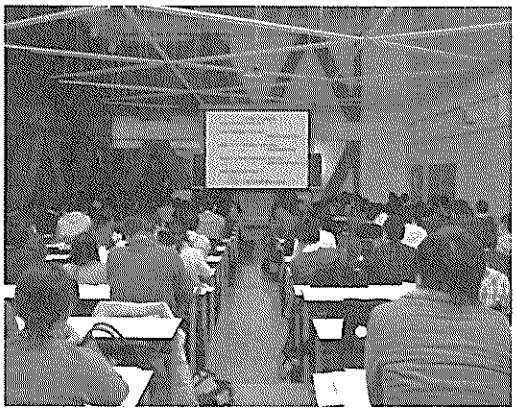
平成 25年 2月 13日（水）、新宿駅西口 首都医校 総合校舎コクーンタワーにて、災害対策研修会が、開催されました。

初の開催である今回は、講師に厚生労働省医政局災害医療対策室 DMAT事務局 小早川義貴先生、福島県理学療法士会 理事 室井宏育先生をお招きし、小早川先生からは「災害医療について」、室井先生からは「実際の震災支援活動について」、ご講演頂きました。

参加総数 153名（PT128名、OT17名、ST8名）と、数多くのリハビリテーション従事者の先生方にご来場頂き、大変盛大な研修会となりました。

一昨年の３月 11日に発生した東日本大震災にて、実際に現場で災害医療・震災支援に携わった先生方のご講演は、被災地でしか感じられない問題点、未だに 15万人以上の人が避難している被災地の現状、Red Flag Signなどの支援介入時の注意点等が非常に分かりやすく心に響くものでした。

小早川義貴先生



室井宏育先生

また、研修会に先立って東京都理学療法士会 高田副会長、東京都作業療法士会 田中会長、東京都言語聴覚士会 半田会長のご紹介がありました。

今後、3士会のみならず、関係機関と密に連携し、災害支援の基盤づくりを進めていきたいと思います。

総じて、リハビリテーション従事者の災害対策に関する啓蒙や、災害医療に関する知識向上を目的に開催し、今回の災害対策研修会は非常に有意義なものとなりました。

ご講演頂きました小早川先生、室生先生、協力して下さいました関係者の皆様、またご来場いただきました多くの方々に感謝申し上げます。

文責：総合東京病院 リハビリテーション科
小平裕也、宮阪祐策

業務推進部

部長：中澤幹夫

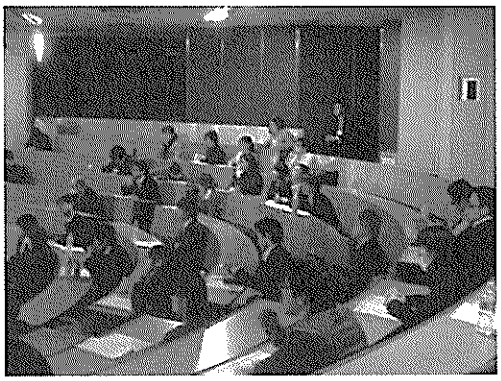
報　告

## ブロック事業報告

**第２回区西北ブロック学術集会**

日　時：2013年2月24日（日）9：00～15：30
テーマ：「最新の脳科学とリハビリテーション」
会　場：日本大学医学部　第二臨床講堂
参加者：72名（会員70名、都民2名）
内　容：区西北ブロックのみならず、広い地域からの会員参加があり活発な質疑応答が行われました。基調講演は日本大学医学部脳神経外科学、大島秀規准教授による神経電気刺激やドラッグポンプなどのニューロモデュレーションを中心とする医用工学技術の現状に関する『神経機能障害に対する神経刺激療法～その現状とリハビリテーションへの応用の試み～』、教育講演は日本大学医学部脳神経外科学、神服尚之助教による痙縮の治療に対する筋弛緩薬の内服治療やボツリヌス毒素注射などの『痙縮の病態と治療』と、理学療法士に身近であり興味深い講義をしていただき、知見を広めると共に今後の治療の参考になりました

報告：東京都保健医療公社　豊島病院　リハビリテーション科　三尾　晴美



報　告

**第5回区東部・東北部ブロック学術集会報告**

日　時：平成25年3月3日（日）9：50～15：45
会　場：臨床福祉専門学校
参加者：136名（都民1名含）
内　容：今回で5回目となる区東部・東北部ブロック学術集会が去る3月3日に開催されました．
今回は，参加者136名（都民1名含），演題数14題と多くの方に参加いただきました．特別講演1では，東京都リハビリテーション病院　院長の林泰史先生に，「地域リハビリテーション」というテーマで，東京都を中心に地域リハビリテーションの現状について講演をしていただきました．特別講演2では，日本理学療法士協会　会長の半田一登先生と，日本理学療法士協会政治参加検討委員会　委員長の高田治実先生に，「理学療法士の現状と今後の課題について」をテーマに，現在我々理学療法士が置かれている現状と，政治参加の必要性について講演をしていただきました．演題内容も興味深いものが多く，参加者にとっても今後の臨床・学術の場で役立つ学術集会になったと思います．
また，大会賞には，「Barthel Indexが転帰先に及ぼす影響についての検討」を発表された，森山記念病院の湯崎仁美（理学療法士）さんが選ばれました．
最後に運営にご協力いただきましたスタッフの皆様に深くお礼申し上げます．

報告　石垣栄司（臨床福祉専門学校）

# ブロック世話人及び世話人代表の決定

報　告

今回のブロック世話人公募に対して多くの会員から応募を頂き，誠にありがとうございます．理事会で検討し，下記の会員にブロック世話人を依頼することとなりました．会員の皆さんには，今後とも，ブロック活動へのご協力をお願い致します．

**区西南部・区西部ブロック**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | 千葉　哲也 | 玉川病院 | 世話人代表 |
| 2. | 菊池　佑至 | 玉川病院 | |
| 3. | 大久保　忠 | 関東中央病院 | |
| 4. | 立壁　大地 | 介護老人保健施設　ふかさわ | |
| 5. | 田中　尚喜 | 東京厚生年金病院 | |
| 6. | 及川　雅博 | 立正佼成会附属佼成病院 | |
| 7. | 松原　徹 | 輝生会　初台リハビリテーション病院 | |
| 8. | 松尾　郁美 | 健貢会　総合東京病院 | |
| 9. | 渡辺　重人 | 健貢会　総合東京病院 | |
| 10. | 田村　龍太郎 | 国家公務員共済組合連合会　三宿病院 | |
| 11. | 宮城 新吾 | JR東京総合病院 | |
| 12. | 今井　覚志 | 慶應義塾大学病院 | |
| 13. | 窪田　幸生 | 河北総合病院 | |
| 14. | 石毛　崇 | 河北総合病院 | |

**区西北部ブロック**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | 齋藤　弘 | 辻内科循環器科歯科クリニック | 世話人代表 |
| 2. | 三尾　晴美 | （公財）東京都保健医療公社　豊島病院 | |
| 3. | 芳野　純 | 帝京平成大学　健康メディカル学部理学療法学科 | |
| 4. | 今野　陽一郎 | 帝京大学医学部附属病院 | |
| 5. | 可児　利明 | 竹川病院 | |
| 6. | 加藤　博己 | 公益社団法人　地域医療振興協会　東京北社会保険病院 | |
| 7. | 卜部　吉文 | 医療法人財団　逸生会　大橋病院 | |
| 8. | 齋藤　弘樹 | 医療法人財団　逸生会　大橋病院 | |
| 9. | 木村　忠彰 | 日本大学医学部附属板橋病院 | |
| 10. | 榎本　洋司 | 慈誠会徳丸リハビリテーション病院 | |
| 11. | 中村　大祐 | 訪問看護ステーションふきのとう | |
| 12. | 畠　昌史 | 千川篠田整形外科 | |
| 13. | 妹尾　浩一 | 東京都練馬障害者支援ホーム　自立訓練係 | |

**区中央部・区南部・島しょブロック**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | 森島　健 | 東京衛生学園専門学校　リハビリテーション学科 | 世話人代表 |
| 2. | 相川　貴志 | 東京衛生学園専門学校　リハビリテーション学科 | |
| 3. | 佐藤　信一 | 東京慈恵会医科大学附属病院 | |
| 4. | 松本　直人 | 東京医療学院　理学療法学科 | |
| 5. | 板垣 美智子 | 永寿総合病院 | |
| 6. | 秋保　光利 | 社会福祉法人三井記念病院 | |
| 7. | 葛山　智宏 | 東京医科歯科大学医学部付属病院 | |
| 8. | 伊藤　滋唯 | 介護老人保健施設　ケアセンター南大井 | |
| 9. | 尾崎　心正 | 東京大学医学部附属病院 | |
| 10. | 岡村　大介 | 聖路加国際病院 | |

北部・区東部ブロック

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | 池田　由美 | 首都大学東京　健康福祉学部　理学療法学科 | 世話人代表 |
| 2. | 信太　奈美 | 首都大学東京　健康福祉学部　理学療法学科 | |
| 3. | 曾根　政富 | 順天堂東京江東高齢者医療センター | |
| 4. | 江口　英範 | 帝京科学大学 千住キャンパス医療科学部 東京理学療法学科 | |
| 5. | 菅沼　一男 | 帝京科学大学 千住キャンパス医療科学部 東京理学療法学科 | |
| 6. | 増田　紗嘉 | 医療法人財団正明会　山田記念病院 | |
| 7. | 高橋　仁 | 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター | |
| 8. | 遠藤　敦 | 医療法人社団森山医会　森山記念病院 | |
| 9. | 神田　太郎 | 臨床福祉専門学校　理学療法学科 | |
| 10. | 美崎　定也 | 苑田会人工関節センター病院 | |
| 11. | 青木　寛幸 | 城東社会保険病院 | |
| 12. | 野口　慎二 | 東京都リハビリテーション病院 | |

北多摩ブロック

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | 中村　岳雪 | 田無病院 | 世話人代表 |
| 2. | 南雲　健吾 | リハビリ企画りは職人 | |
| 3. | 齋藤　航 | 関東リハビリテーション専門学校 | |
| 4. | 伊東　彰 | 武蔵野赤十字病院 | |
| 5. | 裵　東海 | 財団法人多摩緑成会　緑成会病院 | |
| 6. | 林　弘康 | 専門学校　社会医学技術学院 | |
| 7. | 田代　文子 | 清瀬リハビリテーション病院 | |
| 8. | 小澤　伸治 | 佐々総合病院 | |
| 9. | 寄本　恵輔 | 国立精神・神経医療研究センター | |
| 10. | 柳堀　明久 | 小金井太陽病院 | |
| 11. | 加嶋　永治 | 社会福祉法人聖ヨハネ会桜町病院 | |
| 12. | 谷　英幸 | 東大和病院 | |
| 13. | 武市　裕貴 | 介護老人保健施設 小金井あんず苑 | |

南多摩・西多摩ブロック

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1. | 中澤　幹夫 | 多摩丘陵病院 | 世話人代表 |
| 2. | 永見　直明 | 多摩丘陵病院 | |
| 3. | 上薗　紗映 | 平川病院 | |
| 4. | 山口　育子 | 東京医療学院大学 | |
| 5. | 岩戸　徹 | 多摩リハビリテーション学院 | |
| 6. | 榎本　雪絵 | 杏林大学　保健学部理学療法学科 | |
| 7. | 柴崎　大介 | あきる台病院 | |
| 8. | 工藤 弘之 | 大久野病院 | |
| 9. | 井出　大 | 南多摩病院 | |
| 10. | 中里　優司 | 青梅三慶病院 | |
| 11. | 曽木　一樹 | 稲城市立病院 | |
| 12. | 齋藤　隆哉 | 東京医科大学八王子医療センター | |
| 13. | 小林　健一 | 康明会ホームケアクリニック | |
| 14. | 三塚　岳彦 | 町田慶泉病院 | |

順不同

# 区西南部・西部ブロック　吸引研修会のおしらせ

22年度の診療報酬改定の際、理学療法士等により喀痰等の吸引を養成機関や医療機関等において必要な教育・研修等を受けることで実施することができるようになりました。
これを受け、東京都理学療法士協会では講習会を実施し好評を得ました。
今年度も「吸引に対しての知識と実技の研修会」を企画し、会員の皆様の一助となればと考えておりますので興味のある方はご参加ください。

在宅等ではセッシ（ピンセット）を使用した吸引主義が一般的ですが、病院では滅菌手袋を使用する場合が一般的となっております。実技内容が若干異なりますので申し込み際に記載のほど宜しくお願い致します。未記入の場合は当方で振り分けますのでご了承ください。
また、当講習会を受講したことによりどこでも吸引実技が可能となるわけではありません。
実施に関しては実施施設の許可が必要となりますのでご注意ください。

講師　：大久野病院　看護部長　富加見　美智子 先生
テーマ：「吸引に対しての知識と実技の研修会」
日時　：平成25年7月6日　13：30から16：00頃まで
会場　：三茶しゃれなーど　５階　オリオン（別紙参照）
費用　：東京都理学療法士協会会員　1000円
　　他県理学療法士会員　2000円
　　非会員　5000円

申し込み方法：
区西南部・西部ブロック「吸引に対しての知識と実技の研修会」参加希望と明記の上、
職種、所属士会及び区、所属施設名、会員番号、氏名、「セッシ使用の実技希望」「セッシ不使用の実技希望」「どちらでもよい」を記入の上、メールにて下記アドレスに送信してください
メール送付先：区西南部・西部ブロック　seinanbu@pttokyo.net
　　受講の可否は6月上旬頃までに頂いたメールに返信いたします
人数：先着　40名程度といたしますが同一施設から複数参加される場合など調整させていただくことがございますのでご理解お願い致します。
また、応募多数の場合は来年度に再度開催を検討いたします
＊新人教育プログラム　C-1神経疾患の理学療法のポイントが取得できます

## 吸引講習会　会場案内図

日時　平成25年7月6日（土曜日）　13時30分から16時00分頃まで
場所　三茶しゃれなーど　5階　ホール　オリオン
東京都世田谷区太子堂２－１６－７　TEL：03-3411-6636

受託研修部

部長：池田由美

## 【講習会案内】

東京で開催される日本理学療法士協会主催『理学療法士講習会（応用編）』の運営を東京都理学療法士会学術局受託研修部で行っております.

多くの方の受講をお待ちしておりますので，奮ってご参加ください.

なお，講習会の詳細（内容・受講申し込み先等）につきましては，日本理学療法士協会HPをご覧の上ご確認ください.

| 講習会名 | 開催日 | 場所 | 会費 | 定員 | 受講申込受付期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士職域拡大セミナー（頭痛の評価と治療） | 平成25年7月7日（日） | 法政大学　多摩キャンパス | 7,000円 | 20名 | 平成25年4月1日（月）～5月31日（金） |
| ボバース概念に基づく脳性麻痺児の評価と治療 | 平成25年8月23日（金）～8月25日（日） | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 | 12,000円 | 30名 | 平成25年4月1日（月）～8月10日（土） |
| 痛み・麻痺・運動機能障害に対するマイオチューニングアプローチの理論と実践 | 平成25年8月24日（土）～8月25日（日） | 帝京科学大学　千住キャンパス | 12,000円 | 30名 | 平成25年4月1日（月）～8月17日（土） |
| Myofascial Release（Takei Concept）～基礎から応用～ | 平成25年9月14日（土）～9月18日（水） | 首都大学東京　荒川キャンパス | 31,000円 | 46名 | 平成25年4月1日（月）～7月10日（水） |
| 複合性局所疼痛症候群（CRPS）の評価と運動療法 | 平成25年9月21日（土）～9月23日（月） | 東京臨海病院 | 20,000円 | 20名 | 平成25年5月13日（月）～8月10日（土） |
| 成人片麻痺の評価と治療 | 平成25年9月21日（土）～9月23日（月） | 順天堂東京江東高齢者医療センター | 15,000円 | 30名 | 平成25年4月1日（月）～8月10日（土） |
| 理学療法士職域拡大セミナー（顎関節障害の評価と治療） | 平成25年11月17日（日） | 法政大学　多摩キャンパス | 7,000円 | 30名 | 平成25年6月1日（土）～9月17日（火） |
| 脊柱・体幹の触診機能解剖 | 平成25年12月14日（土）～12月15日（日） | 首都大学東京　荒川キャンパス | 12,000円 | 54名 | 平成25年7月1日（月）～10月1日（火） |

新人教育部

部長：古川順光

## [平成24年度第4回新人教育プログラム研修会報告]

報告

第4回新人教育プログラム研修会を平成24年12月16日（日）首都大学東京荒川キャンパス講堂おいて開催いたしました。「D-1　社会の中の理学療法(政策含む)」・「D-3　理学療法の研究方法論(EBPT含む)」・「E-3　国際社会と理学療法」の3コマで、受講生は合計827名(1コマ平均276名)でした。受講生の声をお届けします。

**平成24年度 第4回新人教育プログラム研修会報告**

ふれあい町田ホスピタル　西光愛

4月から理学療法士となり早1年弱、初めての新人プログラムへの参加でした。今回のテーマは、どれも聞きやすく心に残る講演でした。

国際社会の講義では、日本では当たり前な高齢者に対する理学療法という分野が世界ではあまり浸透していないという事に驚きを感じたと共に、日本が世界に伝えていける事もあるのかなと感じました。また、私達の職業が、現在、職種アクセスランキングで上位にいる事や、養成校が増加している事から社会の理学療法士に対する関心の高さを実感しました。その講義の中で患者様の事を真剣に考える誠実さ、優しさ・喜びを共有できる事、その他理学療法士としての資質が挙げられていました。人対人の職業において、相手の事を思いやれる心をそのままに、初心を忘れず成長していきたいと思いました。世界中で理学療法士が増えているこの世の中において、もっと求められる人材になれるように頑張りたいと思います。

## [平成25年度新人教育プログラム研修会のご案内]

今年度の新人教育プログラム研修会は以下の通り予定しています。詳細は随時都士会ホームページでもお知らせしていきます。計画的な履修をお願いいたします。また、他道府県士会で開催される研修会を受講することも可能です。なお、他道府県士会主催の新プロ研修会に関しては協会ホームページ等を参照して下さい。

1．第1回新人教育プログラム研修会
　日時：**平成25年8月9日（金）** 9：00～16：00
　内容：A必須初期研修（A1～A5）
　定員：400名
　受付期間：**平成25年6月18日（火）～7月18日（木）***定員に達ししだい受付終了
　受講料振込期限：**平成25年7月25日（木）**

2．第2回新人教育プログラム研修会
　日時：**平成25年9月7日（土）** 14：30～18：00
　内容：B理学療法の基礎・D理学療法の専門性・E理学療法における人材の育成から3テーマ
　定員：400名
　受付期間：**平成25年7月30日（火）～8月15日（木）***定員に達ししだい受付終了
　受講料振込期限：**平成25年8月22日（木）**

3．第3回新人教育プログラム研修会（第1回と同じ内容）
　日時：**平成25年12月1日（日）** 9：00～16：00
　内容：A必須初期研修（A1～A5）
　定員：400名
　受付期間：**平成25年10月15日（火）～11月7日（木）***定員に達ししだい受付終了
　受講料振込期限：**平成25年11月14日（木）**

4．第4回新人教育プログラム研修会
　日時：**平成26年2月15日（土）** 14：30～18：00(予定)
　内容：B理学療法の基礎・D理学療法の専門性・E理学療法における人材の育成から3テーマ
　定員：400名
　受付期間：**平成25年12月24日（火）～平成26年1月23日（木）***定員に達ししだい受付終了
　受講料振込期限：**平成26年1月30（木）**

5．都士会主催新プロ研修会の受講方法

都士会ホームページから受講申込期間内に受講申込みの上、受講料を事前に銀行振込でお支払い願います。振込先は受講申込時にお知らせいたします。振込確認後、受講決定通知のメールをお送りします。

研修会当日は、①日本理学療法士協会会員カード・②受講料振込が確認できるもの・③講義資料（協会マイページから各自でダウンロード）を必ずご持参ください。受講申込受付時に発行される番号により会場の座席が決まっていますのでご注意ください。

【新プロ研修会当日の受付方法】

当日は指定された時間までに受講受付を済ませて下さい。受付は日本理学療法士協会より発行された「会員カード」を使用しますので、必ずご持参願います。

1）研修会受付時間内に会員カードをカードリーダーにかざしてください（入室受付）。
2）会場内では指定された座席で講義を受講してください。指定席以外で受講した場合、受講が確認できませんので単位は認定されません。
3）1コマ目の講義の終了後、2コマ目の開始前までに再度会員カードをカードリーダーにかざしてください（2コマ目の入室受付）。
4）2コマ目以降も同様に繰り返してください。

【受講履歴の確認】

受講履歴は日本理学療法士協会のマイページから各自で確認できます。
各研修会が開催された後、主催者側から協会へ宛てて受講者の情報を送付しています。その後、協会により受講履歴が登録されます。受講後、会員のマイページへの取得単位等の情報が反映されるまでは約1ヶ月を要します。

6．「C-6　症例発表」単位認定手続きについて

平成24年度から新人教育プログラムにおけるC-6症例発表（3単位）の単位は、「全国学会・ブロック学会・都道府県士会および専門領域部会が認めるもの」における発表を認定することになっています。申請方法は都士会ホームページをご参照願います。

以上は現時点での情報です。今後変更等は都士会ニュース・都士会ホームページにてお知らせして参ります。
なお、ご不明な点は以下の問合せ先までお問い合わせください。

## 表1　新人教育プログラム（平成25年度版）

| No | 講座名 | 新テーマ | | 旧テーマ（現在取得済テーマは2012年3月に自動的に移行） | | 新テーマ内容 | 必須選択 必須 | 必須選択 選択 | 修了要件（単位数） | 履修の方法 集合研修 | 標準PPT | PT講習会（基本編）への参加 | SV研修への参加 | 他施設研修 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 必須初期研修 | A-1 | 理学療法と倫理 | Ⅰ-2 | 職業倫理・管理運営 | 医療倫理や理学療法倫理について学ぶ<br>医療提供者としての医療倫理および権利を理解する | 1 | | 1 | ○ | ○ | | | |
| 2 | | A-2 | 協会組織と生涯学習システム | Ⅰ-1 | 協会組織と生涯学習システム | 本協会および都道府県士会、ブロックの組織と機構について認識する<br>協会の掲げるマスタープランを理解する<br>生涯学習システムの概要を理解する | 1 | | 1 | ○ | ○ | | | |
| 3 | | A-3 | リスクマネジメント（安全管理と感染予防含む） | Ⅱ-2 | 人間関係及び労働衛生 | 医療に関わる職種として、安全管理の基礎とその実際について理解する<br>リスクマネージメントの必要性を理解する<br>理学療法におけるリスクマネージメントの背景を理解する<br>リスクマネージメントにおける記録・報告の方法を学ぶ<br>医療に関わる職種として、感染の基礎とその予防の実際について理解する | 1 | | 1 | ○ | ○ | | | |
| 4 | | A-4 | 人間関係及び接遇（労働衛生含む） | Ⅱ-2 | 人間関係及び労働衛生 | 組織・職場・患者との人間関係について学ぶ<br>理学療法士として必要な接遇について理解する<br>人間関係から生ずる労働衛生上の問題についても取り上げ、各種ハラスメントについて理解する | 1 | | 1 | ○ | ○ | | | |
| 5 | | A-5 | 理学療法における関連法規（労働法含む） | Ⅰ-4 | 理学療法士・作業療法士法および関係法規 | 理学療法士法及び作業療法士法を理解するとともに、関連する法的処置等を含め理解する<br>医療事故・訴訟等についても法的解釈を学ぶ<br>医療行為との境目について、法的根拠に基づいた理解を促す<br>労働法についての理解を深める（就労する上で知識として知っておきたい範囲） | 1 | | 1 | ○ | ○ | | | |
| 6 | 理学療法の基礎 | B-1 | 一次救命処置と基本処置 | | | 理学療法士として必要な一次救命処置について理解する | | 1 | 3 | ○ | ○ | | | |
| 7 | | B-2 | クリニカルリーズニング | Ⅱ-1 | 学問としての理学療法と研究方法論 | クリニカルリーズニングの理論を理解する<br>症例を通した思考過程を理解する | | 1 | | ○ | ○ | ○ | | |
| 8 | | B-3 | 統計方法論*1 | Ⅱ-6 | 症例検討Ⅱ | 研究に必要な統計について理解する | | 1 | | ○ | ○ | ○ | | |
| 9 | | B-4 | 症例報告・発表の仕方*1 | Ⅰ-6 | 症例検討Ⅰ | 症例報告及び発表方法について理解する | | 1 | | ○ | ○ | ○ | | |
| 10 | 理学療法の臨床 | C-1 | 神経系疾患の理学療法 | Ⅰ-5 | 理学療法トピックスⅠ | 神経系の疾患に対する理学療法について理解する | | 1 | 4 | ○ | | ○ | | ○*2 |
| 11 | | C-2 | 運動器疾患の理学療法 | Ⅱ-5 | 理学療法トピックスⅡ | 運動器の疾患に対する理学療法について理解する | | 1 | | ○ | | ○ | | ○*2 |
| 12 | | C-3 | 内部障害の理学療法 | Ⅲ-5 | 理学療法トピックスⅢ | 内部障害の疾患に対する理学療法について理解する | | 1 | | ○ | | ○ | | ○*2 |
| 13 | | C-4 | 高齢者の理学療法 | Ⅱ-3 | 生活環境支援 | 高齢者に対する理学療法について理解する | | 1 | | ○ | | ○ | | ○*2 |
| 14 | | C-5 | 地域リハビリテーション（生活環境支援含む） | Ⅰ-3 | 地域におけるリハビリテーション | 急性期、回復期、慢性期の連携を理解する<br>生活環境支援の方法論を理解する | | 1 | | ○ | | ○ | | ○*2 |
| 15 | | C-6 | 症例発表 | Ⅲ-6 | 症例検討Ⅲ | 症例発表 | | 3 | | | | | | |
| 16 | | C-7 | 士会活動・社会貢献 | | | | | 1 | | 各都道府県理学療法士会が認定した活動に参加 | | | | |
| 17 | 理学療法の専門性 | D-1 | 社会の中の理学療法（政策含む） | Ⅱ-4 | 社会の中の理学療法 | 社会の中におかれている理学療法（士）の社会的責務を理解する<br>理学療法（士）の歴史的変遷を学び、理学療法（士）将来の方向性を模索する | | 1 | 2 | ○ | ○ | | | |
| | | | | Ⅲ-1 | 理学療法士と保険制度 | 職業人としてのPTのあり方について、地域での役割や専門職としての責務について学ぶ | | | | | | | | |
| 18 | | D-2 | 生涯学習と理学療法の専門領域 | Ⅲ-2 | 生涯学習と理学療法の専門領域 | 生涯学習システムを理解し、専門職として常に研鑽しなければならないことを理解する<br>学術団体組織の中の専門職として、自ら研鑽する必要性を学ぶ | | 1 | | ○ | ○ | | | |
| 19 | | D-3 | 理学療法の研究方法論（EBPT含む） | Ⅱ-1 | 学問としての理学療法と研究方法論 | 症例検討の方法論について学ぶ<br>学問としての理学療法について理解し、研究することの意義を学ぶ<br>実際の研究方法論について学び、各種研究法を理解する | | 1 | | ○ | ○ | | | |
| 20 | | D-4 | 理学療法士のための医療政策論 | | | | | 1 | | ○ | ○ | | | |
| 21 | 理学療法における人材の育成 | E-1 | 臨床実習指導方法論 | Ⅲ-4 | 理学療法の教育方法論 | 臨床実習教育の重要性を理解し、臨床実習指導者としての資質向上に努める<br>学校教育システムを含む | | 1 | 1 | ○ | ○ | | ○ | |
| 22 | | E-2 | ティーチングとコーチング（コミュニケーションスキル含む） | | | コミュニケーションスキルやコーチングについて学ぶ<br>職場教育含む | | 1 | | ○ | ○ | | ○ | |
| 23 | | E-3 | 国際社会と理学療法 | Ⅲ-3 | 世界の理学療法 | 国際社会における理学療法のあり方について学ぶ | | 1 | | ○ | ○ | | | |
| | | | | | | | | | 15 | | | | | |

*1　理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除（平成24年度入会者より該当）
*2　認定・専門理学療法士（暫定含む）在籍施設での研修を半日以上とする（平成25年度運用予定）

問い合わせ先：首都大学東京健康福祉学部理学療法学科内（社）東京都理学療法士会新人教育部
E-mail：toshikai-shinjin@mb.infoweb.ne.jp（携帯メールでの問合せは不可）
PT助教室（TEL：03-3819-7154），古川研究室（TEL：03-3819-1211（内461））

外宣部

部長：岡田要一郎

## 夏の理学療法週間に合わせた施設見学受け入れを募集します 募集中

毎年継続的に行っている「都民を対象とした夏の施設見学の受け入れ」についてご協力お願いいたします。日本理学療法士協会では、7月17日の「理学療法の日」をはさんだ1週間を「理学療法週間」としています。当士会でも「理学療法フェスタ」や「施設見学」等の行事を開催しています。

特に施設見学に関する都民の方からの要望が多く、例年ご協力いただいている施設数をさらに増やすことが必要と思われます。

今年度の開催日時としては、**8月12～23日**を予定しております。その期間内で協力いただける施設がありましたら、施設見学承諾書（別紙）にてＦＡＸにて返信ください。見学時間は、説明も含めて2～4時間程度でお願いしています。

【昨年度ご協力を頂いた施設】

23区内：

永寿総合病院　大橋病院　救世軍ブース記念病院 国立国際医療研究センター病院　JR東京総合病院
社会保険蒲田総合病院　順天堂東京江東高齢者医療センター 城東社会保険病院　総合東京病院
竹川病院　東京医科歯科大学医学部附属病院　東京北社会保険病院　東京都リハビリテーション病院
東京臨海病院　　日産厚生会玉川病院　　日本大学医学部付属練馬光が丘病院
日本大学医学部附属板橋病院　森山リハビリテーション病院　森山記念病院

23区外：

永生病院　　介護老人保健施設ピースプラザ　　北原国際病院　　清瀬リハビリテーション病院
康明会病院　公立福生病院　国立病院機構村山医療センター　桜町病院　新天本病院　田無病院
多摩丘陵病院　　（五十音順）

御忙しい中ご協力ありがとうございました。

**理学療法フェスタは、8月10日に東京都庁45階南展望室で開催予定です。**

| FAX送信表 | |
|---|---|
| 送付先 | 専門学校　社会医学技術学院内<br>東京都理学療法士会　外宣部　岡田宛 |
| TEL番号　042-384-1030 | FAX番号　042-385-0118 |

# 施設見学承諾書

東京都理学療法士会が主催する、平成23年度施設見学において下記のとおり承諾致します。

平成　　年　　月　　日

| | |
|---|---|
| 施設名 | |
| 担当者 | |
| 連絡先 | TEL　　FAX |
| 見学可能日時① | 月　日（　）曜日　　時　分～　時　分 |
| 見学可能日時② | 月　日（　）曜日　　時　分～　時　分 |
| 見学者集合場所 | 具体的に |
| 集合時間 | 見学開始　　分前 |
| 公文書の有無 | 必要　・　不要 |
| その他<br>注意・連絡事項 | 見学者に伝えておく内容など |

土曜日を除いて募集いたします

| 見学設定期間　平成25年8月12日（月）～8月23日（金） |
|---|

機関誌編集部

部長：岩本卓水

# 『理学療法 東京』執筆投稿規定

【論文内容】
学術研究論文
教育関係論文
症例報告論文
行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】
日本理学療法士協会・東京都理学療法士協会会員に限る．但し会長が依頼した場合この限りではない．

【投稿原稿の条件】
投稿原稿は他誌に発表，または投稿中の原稿でないこと．本規定に従って作成すること．

【著作権】
本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する．

【研究倫理】
ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し，説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと．

【原稿の採択】
原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する．査読の結果，編集方針に従って原稿の修正を求めることがある．また，必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある．

【執筆規定】
1. 論文構成
1）標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する．原則として略語，略称は用いない．
2）キーワード：標題及び要旨から3個を抽出する．不十分な場合は本文から補充する．3）著者名，所属名
4）要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて400字程度で記載する．
5）本文：下記の各部分から成り立っていることを原則とする．
はじめに（序論，諸言，まえがき等）
対象および方法（症例紹介）：倫理的配慮を記述すること．
結果
考察
結論（まとめ）
文献：引用文献のみとして本文の引用順に並べる．本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける．引用文献の著者氏名が３名以上の場合，最初の２名を記載し，他は「・他」あるいは「et al.」とする．雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，巻，号，頁，西暦年号の順に記載する．単行本の場合は著者氏名，書名，編集者氏名，発行所名，発行地，年次，頁を記載する．
〈表記例〉
・藤田信子，桝田康彦・他：椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動―筋電図学的分析．理学療法学，17:27-30，1990.
・Sepic, S. B, Murray, M. P, etal.:Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women. Am. J. Phys. Med, 65:75-84, 1986.
・真島英信，猪飼道夫：生体の運動機能とその制御.杏林書院,東京，1972, pp185-193.
・Junda, V.:Muscle Function Testing Butterworths, London, 1983, pp224-227.
6）図表
原寸でそのまま掲載する（作図や縮小はしない）．図の番号および標題は図の下に，表の場合は表の上につける．本文と図表は分けて作成し，表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する．
2. 原稿規定分量
原則として400字詰め原稿用紙20枚・8000字以内とする．
3. 文字表記
原則として現代かな使い，数字は算用数字，単位は国際単位系（SI単位）を用いる．
4. 略語
略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する．

5. 表紙頁，著者頁
論文には表紙頁と著者頁をつける．表紙には標題，キーワード(3個)，本文ページ数，図表枚数，原稿文字数を記載する．著者頁には著者名，所属名，責任者連絡先（住所・電話番号・Emailアドレス）を記載する．表紙頁，著者頁の後に要旨・本文・図表を改めて記載する．
6. ページ番号・行番号
原稿にはページ番号（最下部中央）と本文右（または左）に５行ごとに行番号を記載する．

【原稿送付方法および連絡先】
1）原稿送付先
原則として投稿原稿一式を1つのファイルにまとめ，電子メールに添付して下記へ送付する．上記が不可能な場合は問い合わせすること．
2）原稿送付先および連絡先
〒162-8666　東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学　リハビリテーション部
岩本卓水
TEL：03-3353-8112　内線：29354
FAX：03-5269-7639
E-mail：iwamoto-t@reha.twmu.ac.jp

（平成25年4月1日改定）

研究推進部

部長：小山貴之

## 研究推進部からのお知らせ
## 【研究推進相談会の開催】

お知らせ

第32回東京都理学療法学術大会（6月23日開催）にて研究推進相談会を実施いたします。研究をしてみたいけど方法が分からない、こんな研究デザインで行おうと思うけど正しい方法なのか、どのような手順で研究を進めればよいのか、など気軽に訪れて相談できるブースを設置いたします。当日は研究機器貸し出し助成（応募期間：6月1日～30日）についての質問・相談も受け付けますので、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

## 研究推進部からのお知らせ
## 平成25年度研究機器貸し出し助成　応募要領

お知らせ

1. 研究課題

理学療法関連分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究を対象とします。

2. 助成の概要

①応募資格

イ．理学療法士個人またはグループ、医療従事者、一般都民を対象とします。

ロ．大学院生でも応募は可能です。申込書に所属・専攻等を記載ください。

ハ．助成の決定・交付は、所属機関の倫理審査委員会またはそれに準ずる委員会の承認を条件とします（⑥を参照）。

②助成内容

1）研究機器貸し出し

イ．東京都理学療法士会が所有する研究機器について、単年度で無償貸し出しをいたします。

ロ．平成25年度所有予定は以下の機器です。各機器の詳細は各社ホームページ等をご参照ください。

1）ハンドヘルドダイナモメータ（アニマ社製ミュータスF-1）×3台
2）デジタルインクリノメータ（デュアラーIQインクリノメータ）×4台
3）傾斜角度測定機能付き不安定板（ディジョックボードプラス）×1台
4）全身反応時間計測システム（マルチタイムカウンタ・多色刺激呈示器・反応キーボックス・マットスイッチ，DKH社）×1セット
5）組織硬度計・圧痛計・徒手筋力計（伊藤超短波）×1セット
6）関節角度・EMGフィードバックシステム（フィードバックロガ・2軸ゴニオメータ×2・EMG×2・コンタクトスイッチ，DKH社）×1セット

ハ．複数種類・複数台の申請は可能ですが、応募状況・研究内容等を勘案し貸し出し機器および台数を決定いたします。

ニ．他の応募者と貸し出し機器が重複する場合には、選考会議での評価が高い順に貸し出しを決定いたします。

ホ．研究期間中、貸し出した機器を別の研究のために使用することはできません。病院等診療業務でこれを使用することもできません。

2）助成金額

イ．1件10万円を上限とし、採択件数は5件までとします。

ロ．研究機器の貸し出しを希望しない場合、助成金のみの申請も可能です。

③助成金使途

イ．研究に要する機器備品費，消耗品費、対象者交通費、通信運搬費、印刷・複写費のみとします。

ロ．旅費および研究補助者への謝金、10万円以上の機器購入への充当に使用することはできません。

ハ．コンピュータ（タブレットPCを含む）の購入は、研究計画上必要と認められた場合に限り可能とします。単に測定データの入力や論文作成等で使用する場合には認められません。

④助成期間

年度末を原則とします。ただし、貸し出した研究機器につきましては研究の終了後速やかにご返却ください。

⑤助成決定時の義務・条件

イ．選考により助成対象者となられた場合は、所属機関の倫理審査委員会の承認を証明する書類と、所定の助成誓約書を提出していただきます。

ロ．上記2点の書類を確認後、助成交付をいたします。
ハ．助成誓約書の提出をもって、当協会への研究経過・完了の報告および貸し出し機器の返却等の義務を負っていただくことになります。
ニ．研究の終了後、1年以内に研究成果を理学療法関連学会に報告し、論文化の後に学術誌へ投稿してください。原則として学会報告は『東京都理学療法学術大会』または『日本理学療法学術大会』、『関東甲信越ブロック理学療法士学会』のいずれか、論文投稿は『理学療法の進歩と展望』または『理学療法学』のいずれかとしてください。

⑥研究安全倫理審査委員会
イ．倫理審査委員会の承認は必ず行ってください。筆頭研究者ならびに共同研究者の所属機関に倫理審査委員会がない場合に限り、倫理審査書類を提出いただき当会研究安全倫理審査委員会で審議いたします。
ロ．大学院生は学術局では対応いたしませんので、所属機関または大学で倫理審査を受けてください。
ハ．当会研究安全倫理審査委員会の承認は、あくまでも倫理上の問題にのみチェックを行います。研究の実施に関する責任の所在は研究者または所属機関であることをご了承ください。

**3. 選考方法**

選考会議において慎重に審議の上、学際的に貢献し得る研究を選考し、理事会において助成対象者を決定します。選考はマスキング審査で行います。

**4. 応募期間**

平成25年6月1日（土）～6月30日（日）
*応募件数または採択件数が5件に満たない場合には、追加募集を行う場合があります。

**5. 応募方法**

応募要領を熟読の上、当協会ホームページから申込書をダウンロードして必要事項を記入し、電子メールにWordファイルを添付のうえ下記までご提出ください。

**6. 申込書提出先および問い合せ先**

〒162-8543　東京都新宿区津久戸町5-1　東京厚生年金病院リハビリテーション室内
東京都理学療法士協会学術局研究推進部　志村圭太
TEL (03) 3269－8111　FAX (03) 3260－7840　E-mail：tpta.r.s@gmail.com

**渉外局**

局長：千葉哲也

**募集中**

# 脳血管障害者のトレーニング教室
# ～理学療法士協力のご依頼～

東京都障害者スポーツセンターで、下記教室での評価指導を行っていただける理学療法士を募集しております。今回は、スポーツやアクティブな複合動作の実施場面を見て、その中で考えられる効果や、代償、転倒等を含めたリスクについて、教室中は参加者へ助言、そして、教室後の反省会でスタッフ向けに助言を行う内容で。詳細は毎回の最初のミーティングで説明いたします。

ぜひご参加ください。

日　時　　平成25年　6月18日・25日　（火曜日）　急募！
平成25年　12月　7日・21日　　（土曜日）
平成26年　3月23日・30日　　（日曜日）
いずれも12：30頃～16：00　　各2回

場　所　　東京都障害者総合スポーツセンター　体育館

教室受講の対象者　①　40歳以上の脳血管障害者で、立位姿勢の保持あるいは歩行の可能な方
②　これから運動を始める方・運動経験や習慣が少ない方
③　各教室とも5名程度の利用者

募集人数　　各教室2名　できれば各教室2回とも参加できると助かります。

報　酬　　1日　15000円

申込方法　　脳血管障害者スポーツ教室協力希望と明記の上
会員番号　所属機関　協力可能日時　連絡先アドレスを記載し
下記メールアドレスに連絡お願い致します

連絡先　　東京都障害者スポーツセンター　担当　佐藤　　t_sato16@tsad.or.jp
ホームページ　http://www.tokyo-mscd.com/

ご協力よろしくお願い致します

# 広　告

## キネシオテーピング基礎講座プラスα

【内　容】
**キネシオテーピング協会公認基礎講座**です。テーピングの貼り方だけでなく筋、筋膜の触察法やその他プラスαの内容を加えてのセミナーです。スポーツ選手の怪我、肩凝り、腰痛、足の浮腫みなど急性～慢性疼痛疾患などに効果が発揮できるテーピング法です。公認のインストラクターが丁寧に指導しますので、テーピングを扱ったことの無い方でも安心して学べます。スポーツ現場、リハビリテーション、介護現場、ご家庭でその効果をお試しください。

【日　時】**平成25年6月16日（日）**　10時～18時
【会　場】牧田総合病院
【講　師】板谷匠（牧田総合病院）　石丸修（竹重病院）　真栄城健（北中城若松病院）
【受講費】日本理学療法士協会会員12,000円　会員外15,000円　再受講者；5,000円
　　＊テキスト、DVD、テープ2巻付
【申込先】　E-mail：maimai@khf.biglobe.ne.jp（真栄城）
　　件名「キネシオテーピング基礎講座プラスα」と明記し①氏名②所属
　　③連絡先（TEL、メールアドレス）を記載してメールにてお申込みください。
【申込締切】6月4日（火）

## 東京臨床理学療法研究会　第14回研究会

テーマ：「運動のイメージと理学療法」
日時：**平成25年9月28日**（土曜日）
会場：首都大学東京荒川キャンパス講堂（舎人ライナー・都電荒川線　熊野前駅徒歩3分。）
対象：PT、OT、学生
受付開始時間：午前9時30分

特別講演Ⅰ：　「運動イメージと脊髄神経機能」　10：00～11：30
関西医療大学大学院　保健医療学研究科　鈴木　俊明　先生

一般演題：　4～5題　12：40～13：40

ショートレビュー　「リハビリテーションロボティクスの動向」　13：50～14：50
埼玉みさと総合リハビリテーション病院　万治　淳史　先生

特別講演Ⅱ：　「歩行の視覚運動制御」　15：00～16：30
首都大学東京大学院　人間健康科学研究科　樋口　貴広　先生

認定単位：専門理学療法認定ポイント取得可能（予定）
参加費：一般7,000円　学生1,000円（日本理学療法士協会員5,000円、8月31日までの申込5,000円）
応募方法：PCからのE-mailでのみの申し込みとなります（携帯からの申し込みはご遠慮ください）。
申し込み時、氏名(フリガナ)、勤務先名(所属・職種・勤務先住所・TEL・FAX・メールアドレス)、会員番号、経験年数を記入の上、申し込みをよろしくお願い致します。
一般演題：同時に一般演題も募集します(抄録800字程度)。下記のメールまで申し込みください。
参加応募締切：平成25年9月13日(金曜日)

問合せ先：〒264-0007　千葉県千葉市若葉区小倉町1639-3
植草学園大学　保健医療学部　松田　雅弘
TEL：043-239-2593（直通）
メール：t-matsuda@uekusa.ac.jp

# 広　告

## 平成25年　合同会社gene主催セミナー案内　～東京会場～

お問合せ　0120-300-979

### 四肢外傷の単純X線像の読影と運動療法への応用

[講師] 浅野 昭裕 先生　習南市民病院 リハビリテーション室 技師長・理学療法士

整形外科疾患のほとんどの患者に施行される検査、それは単純X線撮影です。医師が診断と治療方法の選択、そして経過観察に利用するその画像は、さらに多くの有用な情報を我々に提供してくれます。それは骨折後の関節機能障害の原因となる軟部組織の問題と関係し、有効で効率的な運動療の立案に役立つものです。あなたは単純X線像からそれらの情報を読み取ることができるでしょうか？
本セミナーでは下記の内容で、四肢外傷を対象とした単純X線像読影のコツをお伝えします。翌日から使える、そして応用のできる、そんな読影力を身につけるために、ワークショップ形式のトレーニングも予定しています。

1．正常画像解剖を学ぶ（画像を描くコツ）
2．四肢外傷のX線像の見かた
3．一般的手術法のX線像
4．X線像の運動療法への利用
5．運動療法に役立つ読影トレーニング

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成25年6月9日（日）10：00～16：00（受付9：30～） |
| 場　所 | 株式会社 日本印刷会館 2階 201-203会議室<br>東京都中央区新富1丁目16番8号 |
| 参加費 | 12,000円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。 |

### 脳血管障害における装具療法の考え方とその適用

[講師] 吉尾　雅春 先生　千里リハビリテーション病院 副院長・理学療法士
山本　康一郎 先生　川村義肢株式会社・育肢装具士

病院における脳卒中患者のリハビリテーションでは治療用装具として用いるのか生活で用いるための装具として作製するのか、それともその両者なのか。治療用装具として用いるのであれば、どこをどのようにするために、どの装具を用いるのか、明確な目的と客観的評価、そして強かな戦略が必要である。
連携パスの活用が求められている中、脳卒中の理学療法ははたしてその期待に応えているだろうか。
今回のセミナーでは主に装具療法に対する考え方を中心に、装具を用いて理学療法士・作業療法士はどうしたらよいか、歩行・立位・座位のために装具をどのように活かすのか等の内容を予定しております。
脳卒中に関わる理学療法士・作業療法士の先生方は是非ご受講下さい。

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成25年6月23日（日）10：00～16：00（受付9：30～） |
| 場　所 | 星陵会館　ホール（千代田区永田町2-16-2） |
| 参加費 | 12,000円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。 |

### コメディカルスタッフのための高齢者のサルコペニアへの対応 -最新"スロー筋トレ"を活用した取り組みとそのアプローチ-

[講師] 都竹　茂樹 先生　順天堂大学 スポーツ健康科学研究科 教育センター 教授・医師

「変形性膝関節症や腰痛症の患者さんが筋肉量を維持したまま減量する方法」、「ロコモティブシンドローム、介護予防や要支援・要介護向けなど体力に応じた運動療法」について、自宅でも実施できる筋力トレーニングを中心に、実技・データ（エビデンス）を交えながら紹介していきます。
あわせて、より多くの患者さんに「興味を持ってもらい」、「継続できる」アプローチ法や声かけ、実際の筋力トレーニングの指導法についても紹介していきます。
※本セミナーはグループワーク形式のセミナーとなっております。

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成25年6月30日（日）10：00～16：30（受付9：30～） |
| 場　所 | 東京都中小企業振興公社 秋葉原庁舎 3階 第1会議室<br>東京都千代田区神田佐久間町1-9 |
| 参加費 | 12,000円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。 |

お申込みは弊社ＨＰ(www.gene-llc.jp)よりお願い致します。

**合同会社ｇｅｎｅ**（ジーン）
〒462-0059
名古屋市北区駒止町2丁目52番地リベルテ黒川1階Ａ号室
TEL：052-911-2800　E-mail：seminar@gene-llc.jp
ホームページ：www.gene-llc.jp（担当：安藤）

[ご注意]開催１週間前よりキャンセル料(全額負担)が発生致します。予めご了承下さい。

### 呼吸器ケア・リハをする人のための基礎技術 ～聴診・打診・触診を中心に

[講師] 井上　登太 先生　みえ呼吸嚥下リハビリクリニック 院長

フィジカルアセスメントを行う上で非常に有効な方法をご教授頂きます。
■座学　聴診部位の確認・呼吸器疾患における聴診の意義
　　嚥下障害における聴診の意義・副雑音の意味
■実技　呼吸音の確認・嚥下音の確認
　　誤嚥スクリーニング検査、胸部・頸部聴診法（CCA）
　　同時に胸腹部の打診・触診
　　グループディスカッション　症例検討など
※ご注意※
実技がございますのでTシャツをご着用の上、聴診器をご持参下さい
本セミナーはグループワークにて講義を進行致します。
ご理解の上、ご参加下さいます様お願い申し上げます。

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成25年7月28日（日）10：00～16：00（受付9：30～） |
| 場　所 | 東京体育館　第1会議室<br>東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1 |
| 参加費 | 12,000円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。 |

### コメディカルのための足・靴・巻き爪の正しい知識 -足のトラブルは靴で治そう-

[講師] 塩之谷 香 先生　塩之谷整形外科 副院長・医師

・靴医学とは
・塩之谷整形外科における靴外来
・足の構造・変形
・疾患各論
　-外反母趾とその類似疾患
　（外反母趾常識のウソ）
　-外反扁平足
　-先天四肢障害
　-麻痺性疾患
　-糖尿病
・理想的な靴・靴の選び方
　-間違いだらけの靴選び-
　（靴選び常識のウソ）
・靴事情日本と欧州の比較
・下肢障害と靴の関連
・巻き爪・陥入爪
・爪はなぜ巻くのか
・ワイヤー治療の実例
・人工爪・ガター法とその応用

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成25年8月4日（日）10：00～16：00（受付9：30～） |
| 場　所 | 東京体育館　第1会議室<br>東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1 |
| 参加費 | 12,000円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。 |

### 圧迫骨折の病態の理解とそのアプローチ

[講師] 赤羽根 良和 先生　さとう整形外科・理学療法士

骨粗鬆性圧迫骨折について、その病態について説明する。まずは、セラピストが知っておかなければならない骨粗鬆症について理解し、その上で圧迫骨折の分類や発症機序、さらに外固定後からの運動療法まで解説する。その中でも最も重要なのは早期に圧迫骨折を見つけることである。早くに治療が開始されれば、圧潰程度も少なくて済む。早期発見は、予後に直接影響するため、見逃してはならない。
またADL指導も重要なため、ベッドサイドでの起居動作のコツも解説する。

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成25年8月11日（日）10：00～16：00（受付9：30～） |
| 場　所 | 株式会社 日本印刷会館 2階 201-203会議室<br>東京都中央区新富1丁目16番8号 |
| 参加費 | 12,000円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。 |

### リハスタッフのための福祉用具選定の考え方

[講師] 下元 佳子 先生　生き活きサポートセンターうえるぱ高知 代表・理学療法士

福祉用具選定のノウハウとその考え方
利用者の生活から見た福祉用具選定の考え方
身体能力を踏まえた福祉用具選定の考え方
福祉用具選定の評価で大切なポイント

| | |
|---|---|
| 日　時 | 平成25年8月11日（日）10：00～16：00（受付9：30～） |
| 場　所 | 東京都中小企業振興公社 秋葉原庁舎 3階 第1会議室<br>東京都千代田区神田佐久間町1-9 |
| 参加費 | 12,000円（税込）※当日会場にてお支払い下さい。 |

# 株式会社フィリア求人情報 7月OPEN予定 理学療法士募集

## ★コンセプト

団塊の世代と呼ばれる第一陣が65歳を迎えることで、高齢化社会に拍車がかかりました。要支援者が急増する中、介護の手を必要とする人々は、戦後生まれの世代へと移りゆきます。今までの保守的な介護サービスではなく、これからは未来のある介護サービスが求められています。
その中で当社は、機能訓練や機能回復、または介護予防を目的とした参加型介護サービスを中心に、提供させていただきます。さらにお客様サービスでは、ホテル水準の民間型サービスを確保して「来てよかった」「ありがとう」と言われるような運動療法室（事業所）を築いていく所存です。新しい地域医療及び介護を創造する第一歩になることを願い、リハビリ＆リラクゼーション特化型デイサービス「フィリア両国メディカルケア」の開設に至りました。

## ★仕事内容

定員10名のデイサービスです。午前・午後の2部制で、PT・OT・あん摩マッサージ師それぞれの専門部門に分かれます。3～4名の利用者様に対し、専門部門のスタッフ1～2名が運動療法と物理療法、動作訓練にあたります。一人一人に合ったプログラムを作成して、利用者様のケアに専念できる環境を構築します。

## ★独立支援制度

当社の新事業が軌道に乗れば、2店舗目、3店舗目も考えております。
将来的に組織の中核を担う事も可能です。
また「自分で店舗を持ちたい」「経営者になりたい」だけど・・・資金が無い、どの様に経営したらよいか解らない方の独立を支援する独立支援制度も行っております。
お金・ノウハウが無くてもOK。 必要なのはあなたのやる気です！

## こんな方を求めます！！

- 医療機関からバトンタッチ後一人一人の患者様や利用者様の 最終的な自立までの関わりをもつことで地域に根ざした医療および介護を行いたい方
- 現在の治療経験をもとに、更なるスキルアップを図り、収入アップを目指したい方。
- PT業務と共に、総合的な事業マネージメントや新規事業立上げに興味がある。ベンチャースピリットのある方。
- 独立起業をしたい方

勤務地：墨田区千歳2-13-4　最寄り駅　両国駅・森下駅徒歩10分
給　与：月給30万～35万　経験・能力考慮
待　遇：昇給年1回　賞与年2回　資格手当　社会保険有　資格取得支援　独立支援制度

問い合わせ：03-5639-9299（受付10:00-18:00）/採用係まで
ご質問やお問い合わせお気軽にお電話下さい！！

広　告

関東リハビリテーション専門学校
〒190-0022
東京都立川市錦町６丁目２番９号
TEL 042-529-6655

豊かな経験と優れた技術により、社会に貢献
義肢材料総製造販売・リハビリ器具販売
KEIAI™
SINCE 1946
㈱啓愛義肢材料販売所
URL：http://www.po.kioa.co.jp　E-mail：info@kioa.co.jp
〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島 8-15-15
TEL：048-837-5211　FAX：048-837-5200

学校法人小関学院
東都リハビリテーション学院
〒153-0044 東京都目黒区大橋2-4-2
TEL 03-3468-4656
FAX 03-3468-4635

(有)ナックス
介護ショップ ナックス
〒 330-0834
埼玉県さいたま市天沼町 1-518
TEL 048-647-5131　FAX 048-649-5080

(株) 日本ケアーシステム
〒334-0013
埼玉県鳩ヶ谷市南 3-19-27
TEL 048-286-1188

MAX マックス株式会社
HCR 営業グループ
〒103-8502
東京都中央区日本橋箱崎町６－６
TEL ： (03) 3669-0713
FAX ： (03) 5644-7546

多摩丘陵病院
〒194-0202
町田市下小山田町１４９１
TEL 0427-97-1511

インターネットで介護支援の情報をキャッチ!!
介護支援ページ
kaigo-web
http://www.kaigo-web.info/
矢崎化工株式会社　東京支店
TEL04-2944-7111・FAX04-2944-7007

SIGMAX
日本シグマックス株式会社
〒163-6033 東京都新宿区西新宿6-8-1
TEL.03(5326)3200
営業所:札幌・仙台・大宮・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・松山・福岡

<がん>を治すためのがん保険
アメリカンファミリー生命特別代理店
国際保険株式会社
フリーダイアル　0120-5931-98

株式会社メディカルシステムズ
東京都文京区湯島2-17-15
TEL03-3816-3128 FAX03-3816-3443
E-Mail: mail@medicalsystems.co.jp

義肢・装具・コルセット
(株)田沢製作所
〒113-0034 東京都文京区湯島2-5-4
TEL.(03)3814-7535(代)
FAX.(03)3818-6027

コミュニティリハビリ株式会社
〒174-0075
板橋区桜川3-20-12-101
TEL03-3559-3661

Presented by CYBERDYNE
ロボットスーツHAL®福祉用
国内総販売代理店
大和ハウス工業株式会社
東京支社ロボット事業推進室
〒102-8112　東京都千代田区飯田橋三丁目13-1
tel:0120-934-576

厚生労働大臣指定・東京都認可
学校法人 後藤学園
東京衛生学園専門学校
リハビリテーション学科（理学療法士養成）
看護学科 全日制・通信制（看護師養成）
東洋医療総合学科（あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成）
臨床教育専攻科（あん摩マッサージ指圧はりきゅう 教員養成）
〒143-0016 東京都大田区大森北4-1-1
TEL 03-3763-6621　http://www.teg.ac.jp/

株式会社日本メディックス
最新技術でリハビリテーションを
拡げています。
東京営業所
〒113-0034
東京都文京区湯島2-10-6　萩原ビル 3F
TEL 03-5689-4611

株式会社 カナケン
〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区
美しが丘2-17-39
TEL 045-901-5471

バランス・歩行・動作分析から
呼気ガス分析まで
リハビリテーションME機器総合メーカー
アニマ株式会社
【本社】〒182-0034 東京都調布市下石原3-65-1
TEL:042-487-6111 FAX:042-487-6116
http://www.anima.jp

大宮義肢研究所
埼玉県さいたま市北区土呂町
1丁目5番9号
〒331-0804 tel 048-663-7200
fax 048-663-5993

株式会社 森山印刷
本社 〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-1 森山ビル
分室 〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-20
TEL(03)3541-1144(代) FAX(03)3541-0388

## 広告掲載について

【サイズ・掲載料(税込み)】 1/4ﾍﾟｰｼﾞ(約縦12×横8.5cm) ；10,500円、 1/2ﾍﾟｰｼﾞ(約縦12×横18cm) ；21,000円
1 ﾍﾟｰｼﾞ(約縦24:5×横18cm)；42,000円
【今後の予定】 7月25日発行予定、締め切り6月25日
【問い合わせ・申し込み】
〒184-8508 東京都小金井市中町２－２２－３２ 社会医学技術学院 理学療法学科内
(公社)東京都理学療法士協会広報部 tel 042-384-1030 担当：中山

## 編集後記

都士会は公益法人として二ヶ月が過ぎようとしています。推進委員会の甚大な努力の賜ではありますが、同時に我々の今までの活動が都民に貢献できていると評価され、今後のさらなる発展を期待されているとも考えられます。結果、各局部委員会の役員に課せられた責任と業務内容が増しているのは事実です。役員達は、通常業務外で協会活動を行っていますので限界が生じてくるかもしれません。そんなとき、皆様にも協力を求めることが増えると思いますので、協会員一丸となって愛の溢れる団体にしていくためにも力添えをお願いいたします。 ＜K・H＞

## 目　次


山口かずゆき氏・高田副会長　対談…… 1
「リハビリテーションの未来を考える」…… 4
地位向上委員会から…… 5
東京都理学療法学術大会案内…… 5
スポーツの理学療法委員会から…… 6
小児福祉部から…… 7
災害対策委員会から…… 8
業務推進部から…… 9
受託研修部から…… 13
新人教育部から…… 14
外宣部から…… 17
機関紙編集部から…… 19
研究推進部から…… 20
渉外局から…… 22



公益社団法人東京都理学療法士協会正会員数
；　５５３０名(平成25年5月１４日現在)
［事務局］〒151-0053 渋谷区代々木２－２６－５　パロール代々木４０９号
TEL 03-3370-9035　FAX 03-3370-9036
http://pttokyo.net/